

学級集団の状態に応じた児童・生徒の様子と指導のポイント

学級集団の状態		1 仲間とのかかわりへの期待	2 気の合う仲間とのかかわり	3 異なる考え方の仲間とのかかわり	4 学級全体の仲間とのかかわり	5 学級全体への積極的なかかわり
		自分の考え方や行動に不安を感じ、他へ依存しながら、周りとかかわりをもとうとしている	行動の仕方や好み等、気の合う仲間とグループをつくり、行動を共にする中で、仲間意識を強くしている	係や当番等、活動の目的をもった小集団を学級の話合いを通してつくり、その活動の中で人間関係を広げている	学級担任の指導を基に、自分たちの生活から学級の問題を発見し、主体的に解決しようとしている	学級の問題を発見し、その問題の原因や本質に気づき、充実した学級にするために積極的に取り組もうとしている
目標の設定	仲間と活動の目標を考え、決まった目標を理解する	児童・生徒の様子 ・何気なく窓際に立ったり近くの仲間に話しかけたり、同じ遊びで集まったりしながら周りの仲間の様子や学級の雰囲気をつかっている。	児童・生徒の様子 ・遊びや部活動、友達等、自分と共通点のある仲間同士で集まり、楽しく活動するための自分たちのルールや目標を決めている。	児童・生徒の様子 ・係や当番等の活動のために「私語をしない」「仕事をなまけない」等、自分の欲求を抑えながら目標を確認したり提案したりしている。	児童・生徒の様子 ・学級担任の指導を基に、学級目標をつくる話合いが進み、充実した集団活動になるように、全員にとって価値のある目標を設定している。	児童・生徒の様子 ・学校生活の経験を踏まえて、学級の課題を自分たちで見だし、望ましい学級の姿を明確にしながら学級の目標について活発な意見交換を行っている。
		指導のポイント ⇒ 周囲の思いに気付くことができるようになります。	指導のポイント ⇒ 仲間と考え方を共有できるようになります。	指導のポイント ⇒ 活動の目標を明確にできるようになります。	指導のポイント ⇒ 学級の問題に意識をもてるようになります。	指導のポイント ⇒ 全員の願いを互いに生かせるようになります。
方法・手段の決定	仲間と活動の目標を達成するための方法や手段を考える	児童・生徒の様子 ・個々に目標に向けた行動をとりながら、積極的に自分の考えを発言している仲間に注目して、考え方に同調したり行動の仕方を参考にしたりしている。	児童・生徒の様子 ・仲間がどのような価値観や願いを持っているのか考えながら、よりよい活動をするための方法を考えるとともに、仲間の意見から決まったルールを守りながら行動している。	児童・生徒の様子 ・グループの仲間との人間関係に気を遣いながら、設定した目標や達成手段がグループに合っているのかを考え、よりよい活動ができるよう話し合っている。	児童・生徒の様子 ・学級担任の指導を基に、学級目標の達成や問題解決のための方法を各自が考え、意見を出し合いながら決めている。	児童・生徒の様子 ・よりよい学級を目指して、学級の問題に対して今までの経験を踏まえた上で自主的に意見交換が行われ、よりよい解決の方法を決めている。
		指導のポイント ⇒ 多様な考え方に気付くことができるようになります。	指導のポイント ⇒ 他の仲間の存在を意識できるようになります。	指導のポイント ⇒ 多様な考え方を認め合えるようになります。	指導のポイント ⇒ 今までの経験を活用できるようになります。	指導のポイント ⇒ 自分の力で判断できるようになります。
役割の分担と実践	仲間との活動の中で自分の役割をもち、他の人の役割も理解しながら、協力して実践する	児童・生徒の様子 ・学級内で決められた仕事をしながら、自分のできることに気づき、周囲の活動の様子を見ながら、活動における自分の役割をもとうとしている。	児童・生徒の様子 ・趣味や興味・関心の高いものの話をしたりニックネームで呼び合ったりして、自分や仲間の立場を確認するとともに、仲間の行動に関心をもっている。	児童・生徒の様子 ・係や当番等における自分の役割を周囲に確認しながら、その責任を果たすとともに、仲間の役割や責任を考え、グループ内で協力し合って活動している。	児童・生徒の様子 ・学級内の役割について、学級担任の指導を基に、自分がその役割にふさわしいか、あるいは達成することが可能かを考えながら、協力し合って活動している。	児童・生徒の様子 ・互いの能力や個性を理解し、話し合いながら活動の役割を決め、各自が責任をもって果たすとともに、よりよい学級にするために、互いにアドバイスをしながら協力し合っている。
		指導のポイント ⇒ 自分の役割を確認できるようになります。	指導のポイント ⇒ 仲間の役割を意識できるようになります。	指導のポイント ⇒ 互いの役割を理解できるようになります。	指導のポイント ⇒ 学級での役割を自覚できるようになります。	指導のポイント ⇒ 個々の力を生かせるようになります。
相互の認め合い	相手の考えや意見を認める	児童・生徒の様子 ・近くの仲間と声をかけたり、同じような考えの仲間と集まったりしながら、どの程度自分の要求が通りそうかをうかがったり、賛同できる考えを見付けたりしている。	児童・生徒の様子 ・気の合う仲間と登下校を共にしたり、休み時間に集まったりしながら、仲間の考えや行動を理解し、互いに認め合っている。	児童・生徒の様子 ・係や当番等の活動を通して、仲間の考え方を聞いたり行動のよい面を見付けたりしながら、相手のよさを認め、自分の行動に生かしている。	児童・生徒の様子 ・学級担任の指導を基に、学級の活動における仲間の考え方や行動のよさを見付け、認め合うとともに、互いのよさを取り入れながら協力し合って活動している。	児童・生徒の様子 ・学級の一人一人が互いの考え方や行動のよさを認め合うとともに、よりよい学級集団づくりのために、互いのよさや能力を生かして活動しようとしている。
		指導のポイント ⇒ 周囲のよさに気付くことができるようになります。	指導のポイント ⇒ 自分の考えを適切に表現できるようになります。	指導のポイント ⇒ 他の仲間のよさを理解できるようになります。	指導のポイント ⇒ 仲間の活動のよさを認め合えるようになります。	指導のポイント ⇒ 各自のよさを発揮できるようになります。
所属感・連帯感の高まり	集団に対して所属感や所属意識、連帯感や連帯意識が高まる	児童・生徒の様子 ・登下校や遊びに誘ったり何気なく声をかけたりしながら、仲間との共通点を見付けようしたり、相手の反応を見ながら自分の立場を確認したりしている。	児童・生徒の様子 ・持ち物や好みを合わせて同じ行動をとったり、仲間同士のニックネームを付け合ったりしながら仲間意識や安心感をもっている。	児童・生徒の様子 ・グループで活動する中で、自分の役割や責任を果たしながら、協力して目標を達成することで共に喜び、グループの一員としての存在感や活動の楽しさを感じている。	児童・生徒の様子 ・学級担任の指導を基に、学級の仲間との活動を通して、自分の学級での役割や責任に気づき、自主的に活動しようとするとともに、学級全体で活動することの楽しさを感じている。	児童・生徒の様子 ・互いの考えの違いを認め合い、一人一人が学級の一員としての自覚をもちながら、学級のためにできることを考えて行動しているとともに、学級に所属していることの充実感を感じている。
		指導のポイント ⇒ 集団の楽しさに気付くことができるようになります。	指導のポイント ⇒ 自分の行動や役割に自信をもてるようになります。	指導のポイント ⇒ 学級の一員としての自覚をもてるようになります。	指導のポイント ⇒ 学級のために活動する意欲をもてるようになります。	指導のポイント ⇒ 学級のために活動した喜びを味わえるようになります。
相互の尊重	相手を尊重し、支えていく態度や行動をとる	児童・生徒の様子 ・学級の仲間の行動や発言等から、参考になることを自分の活動に取り入れながら、相手のためにできることを考え、仲間に声をかけたり、共に活動したりしている。	児童・生徒の様子 ・同じように行動する範囲や共通点を広げ、互いに仲間であることを確認し合いながら、グループの大切な一員として仲間のことを大切に思い、協力し合って活動している。	児童・生徒の様子 ・係や当番等の活動内容や目標についての話し合いが積極的で、互いのよさや能力を生かそうとするとともに、仲間の失敗に寛容になり、互いに助け合っている。	児童・生徒の様子 ・学級担任の指導を基に、仲間のよさを見付け、学級の中の大切な一員であることに気付くとともに、様々な考え方があることを理解し、状況を判断しながら助け合って活動している。	児童・生徒の様子 ・どのような意見であっても尊重されなければいけないという意識をもって仲間の考えや行動を受け止め、互いの能力や立場を踏まえながら、よりよい学級づくりのために、支え合い、協力し合っている。
		指導のポイント ⇒ 仲間の大切さに気付くことができるようになります。	指導のポイント ⇒ 相手を受け止める態度がとれるようになります。	指導のポイント ⇒ 相手を多面的に理解できるようになります。	指導のポイント ⇒ 互いの存在を認め合うことができるようになります。	指導のポイント ⇒ 互いに評価し合うことができるようになります。